

後継者(人)から話を聞いた
同科は年間約400例の手術を
手がける。

日帰り手術

治療は、歯茎を切開し、顎の骨(歯槽骨)に金属のチタン製のねじを埋め込む。骨と結合するのを待ち、その上にセラミック

何で



馬場さん(左)から打谷さんと

0区です。ここでは50歳以上で8割を占めます。糖尿病がひどかったり、骨粗しょう症の薬を服用しているケースなど無理な場合があります」と話した。ただ、保険外診療なので、費用が高くつくのが難点だ。同病院では、検査、手術と人工歯装着で1本当たり35万円から40万円かかる。「格安を宣伝してい

健やか

ライフ

目の病気 ① 緑内障

今月は、大阪府守口市の鈴木良子さん(68)と和歌山市の中村早苗さん(63)から寄せられた、「年齢に伴って増える目の病気について知りたい」との質問に

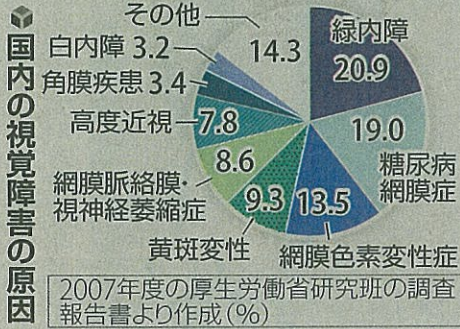


答えます。病気の特徴や、日頃から気をつけたポイントを解説します。講師は京都府立医科大学教授の木下茂さん。写真です。

眼球の内側から外側に向かってかかる眼圧が視神経や周囲の血管を圧迫し、視神経が萎縮し

視野・眼圧・眼底 定期検査を

て視野が徐々に欠けていくのが「緑内障」。国内では中途失明の原因の4分の1を占め、40歳以上の5%が発症するとされ、70歳以上では10%を超えるとの報告例もあります。



視野が部分的に欠けていきませんが、一方の目がカバーするため、「おかしい」と気づいた時には悪化しているケースが多いのです。失われた視野を回復することはできませんが、点眼薬で眼圧を抑え、進行を食い止めることができます。点眼薬は種類も多く、患者一人ひとりに合ったものを選びます。注意してほしいのは、眼圧が異常に高い人だけがなる病気ではないという点。眼圧が正常でも、視神経や血管が弱い人は発症することがあります。40歳を過ぎたら視力だけでなく、視野や眼圧、そして眼底も調べる検査を、定期的に受けるように心がけてください。

夕刊 わいず倶楽部

本格派ボン酢 板前手造りボン酢 (板前手造食品) 遠度 美智子さん 65 大阪府八尾市



私のイチオシ

我が家は、冷蔵庫に種類の本格的なボン酢が圧入れしてあります。中でもこのボン酢は、徳島かんきつ類の一種「絶妙ブレンド」の果汁をブレンドしたの爽やかな香りが強く、まろやかで絶妙です。お鍋はもちろん、身や湯豆腐のようなら、サラダ、焼き魚、幅広く使えます。一

シニア探検隊募集

あなたも日々の暮らしと想っている世代を募集し氏名、年齢、象を記述のうえ読売新聞大阪でもらう方に